



# 桂川っ子

VOL.29



## 「絆を求めて」

桂川東小学校 校長 田島久美子

「あいさつを返してくれたので、よかった。」「中学校の人たちと話が出来た。」7月8日、中学校であいさつ交流会をした児童会役員、原田さんと橋本さんの感想です。

桂川東小学校の子どもたちは毎朝、横断歩道で、校門で地域の方々からの「おはよう！」「気をつけて行ってらっしゃい！」とたくさんの見守りと声かけを受けて登校しています。

朝の声かけを通して「自分は大切な存在なんだ。」「自分を大切に頑張るぞ。」「自分だけでなく、友だちやまわりの人も大切にするぞ。」という想いを一人ひとり育んでいます。

一般的に「地域の力が失われている。」と言われて久しいですが、まだまだ子どもたちの成長を願う温かな「地域力・地域の絆」が生きています。嬉しくなります。

あいさつの「あい」は「愛」だったのかもしれない。9月、学校に子どもたちの元気な「おはよう」のあいさつが響く時が待たれます。

## 学校現場と教育行政のパイプ役として

桂川町教育委員会 指導主事 川原田寿史

教育基本法をはじめ諸々の教育関係の法が改正され、地方教育委員会も指導主事配置の努力義務が求められました。しかし現在筑豊

地区の町村で指導主事を配置できているのは、香春町、福智町、川崎町そして桂川町の4町のみです。

指導主事配置の目的は、学校への指導や支援を通して学校教育を活性化させることにあります。

着任しまして早5ヶ月、現在桂川町の教育にかける期待に応えるべく試行錯誤を重ねているところです。

本町の場合、これまでの関係者の努力により生徒指導面での問題はほぼ解消していますが、将来に向けての進路保証が大きな課題です。そのためには子どもたちに学力をつけていくことが重要です。

そこで最初に学校・家庭・地域関係機関や団体が連携して子ども

たちに「確かな学力」「豊かな心」を育成することを目的にした「生き生き桂川っ子」総合推進事業を進めています。

また、筑豊教育事務所と連携して学校の授業改善を進めるための授業研修会や教職員の指導力向上を目指しての様々な研修会に取り組んでいます。

今後とも、学校や関係機関、団体とのパイプ役としての役割を果たし、桂川町教育の活性化に向け取り組みを進めていく所存です。町民の皆さんのご指導・ご鞭撻を切にお願いいたします。

